

公的医療保険制度を題材としたモデル授業案（標準型：1 時間目）

○授業の目標

- ・ 人生には様々なリスクが潜んでいることを理解する。
- ・ 社会保障がリスクに対して国民全体で支え合う制度であることを理解する。
- ・ 各自が必要と考える社会保障制度について考えを整理し、意見を構築する。

	学習内容	学習活動	学習支援 (指導上の留意点)	資料など
導入 (5 分)	・ 医療サービスを受けること	・ 医者にかかった時のことを思い出してみよう。窓口でお金を支払って受け取った診療明細書からどんなことが分かるか。	・ 診療内容と費用という答えがでたら、1 点 10 円でいくら医療費がかかったかを計算させる。高いと思うか、安いと思うか問う。 ・ 自己負担額と保険給付額について意識させ、「保険給付」がどこから出ているかを問う。	診療明細書の例 (下記 12 頁目) https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisaku-jouhou-12400000-Hokenkyoku/0000203025.pdf
展開① (10 分)	・ 公的医療保険制度の仕組み	・ 健康保険被保険者証（保険証）の役割から、医療保険の仕組みを知ろう。	・ 保険証を示すことで、国民誰もが原則 3 割自己負担で医療を受けられること、保険料をプールしている仕組み、低所得者の保険料減免などの知識を整理させる。(国民皆保険の重要性) ・ 原則 3 割自己負担であることに加え、高額な医療費がかかった場合でも、上限を定めて現実的な負担で済むことも理解させる。(高額療養費制度)	・ 公的医療保険の仕組み https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iryouhoken/iryouhoken01/index.html https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000688664.pdf
展開② (10 分)	・ 国民皆保険制度の重要性	・ 国民皆保険である必要性について考える。	・ 各年齢階級における医療費を個人で負担できるかを考えさせる。 (高齢になるにつれ、医療費は増大していく傾向にあること。一方、若いうちも医療費はかかっていること。) ・ 国民皆保険制度では所得や個人が	・ 生涯医療費 https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000688664.pdf

			抱えるリスクを問わず、いつでも、だれでも（どこでも）医療が受けられる。	
展開③ (15分)	・ 公的医療保険と民間保険の違い	・ 公的医療保険と民間保険の違いについて理解する。	・ 加入が、法律によって義務付けられているか（社会保険）、契約によって自由に選択されるか（民間保険） ・ 民間保険会社の年齢別月額保険料表などを示しながら、違いを説明する。 （民間保険） ・ 年齢・性別ごとのリスクに応じた保険料を支払うこととなり、高齢の人は保険料が高くなる傾向がある。 ・ 持病や既往歴がある場合には、加入できないことがある。 （公的医療保険） ・ 人々の連帯により、高齢の人やリスクの高い人々も含めた、全ての人の生活のリスクをシェアするための仕組み。 ・ 保険料は各自のリスクに見合ったものではなく、賃金等の負担能力に応じたものとしている。 ・ 病気や障害を抱えている人でも、負担可能な保険料で保険に継続的に加入し、必要な給付を受けることができる。	・ 平成 24 年版厚生労働白書 https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/12/dl/1-03.pdf ・ 民間保険会社医療保険商品の年齢別月額保険料表など
まとめ (5分)	・ 共助	・ 共助の大切さを知る。	・ 誰でも年をとるし、現在の健康状況、年齢に関係なく、いつでもリスクに見舞われることがあるため、公的医療保険制度（共助の仕組み）が極めて大切であることに気付かせる。	

公的医療保険制度を題材としたモデル授業案（標準型：2 時間目）

	学習内容	学習活動	学習支援 (指導上の留意点)	資料など
導入 (3 分)	・ 前回の振り返り	・ 公的医療保険制度（共助のしくみ）が極めて大切であることを振り返る。	・ 公的医療保険制度が大切である一方、医療費が増大していることを伝える。	
展開① (14 分)	・ 日本の公的医療保険制度の課題	・ 少子高齢化における医療費の増大について知る。	・ 1 時間目の展開③で取り上げた様に、高齢になるにつれ、一人当たりの医療費が増大する傾向にあることを取り上げる。少子高齢化の進行により、日本全体の医療費も年々増加している。	・ 平成 30 年度国民医療費の概況（図 1） https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-iryohi/18/dl/kekka.pdf
展開② (15 分)	・ 公的医療保険制度の課題に対し、私たちができること	・ 上記で公的医療保険制度の持続可能性について課題があることを理解した上で、限りある医療資源の使い方について、社会や個人として何ができるかを考える。	・ 健康に気を付ける。 ・ かかりつけ医に相談する。 ・ 夜間、休日受診は極力控える。 ・ 過剰な病院受診（ハシゴ受診・コンビニ受診）を控える。 ・ ジェネリック医薬品を活用する。 ・ 湿布、イソジン、トローチ、塗り薬（ヒルドイド等）など市販薬で代替できるものは、市販薬を購入する。 ・ 子どもの医療費、高齢者の医療費について考える。	・ 健康保険連合会 https://www.kennporen.com/health-insurance/basic/04.shtml ・ 上手な医療のかかりかた https://kakarika.mhlw.go.jp/ ・ 生涯医療費 https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000688664.pdf
展開③ (10 分)	・ 人生のライフイベントと社会保障	・ ワークシートを活用し、社会保障制度は、人生を通じて生活を守っている身近なものであることを理解する。	・ 公的医療保険のほか、人生における様々なライフイベントの備えを社会化したものとして社会保障制度があることを紹介する。 ・ 出産、子育て、介護などの場	ワークシート 「私たちの生活と社会保障」

			面でも社会保障制度が役立つことを紹介する。 ・一生の間にどのような社会保障を受けているかを話しながら、ワークシートを記入させ、制度の全体像をつかむ。	
まとめ (3分)	・まとめ	・ 公的医療保険制度の課題について理解する。	・ これまでの学習を踏まえ、公的医療保険制度の課題を理解し、当事者意識をもって考えていく必要があることを伝える。	